

⑤ 下関港海岸外浦地区における高潮対策事業 ～二重パラペット式護岸の整備～

受賞機関 国土交通省 九州地方整備局 下関港湾事務所

キーワード 二重パラペット式護岸、眺望の確保、景観配慮

全建賞審査委員会の評価ポイント

高潮対策事業としての二重パラペット式護岸の整備。通常のパラペット護岸より低天端高となる二重パラペット式護岸の採用により、安全性の向上はもとより、利便性（遊歩道として利用可能）や景観性（背後からの眺望を確保）に配慮した点が評価された。

1. はじめに

下関港海岸外浦地区は、関門海峡を望む風光明媚な景観を有し、背後には国立病院機構 関門医療センター、ホテル、商業施設、マンション等が立地し、多くの観光客や地域住民が来訪する地区となっている。しかし、平成11年台風18号、平成24年台風16号等の襲来により、医療センターの駐車場が冠水するなど甚大な被害が発生したことから高潮対策事業として、平成27年6月より防護、景観、環境・水産協調、利用に配慮した護岸の整備に着手した。



下関港海岸 外浦地区

2. 事業の概要

下関港海岸は、周防灘に面する下関市の南側に位置し、直背後には多くの住宅、歴史・観光資源、企業、工場等が集積しているが、度重なる台風による高潮や越波により、家屋の浸水、工場の操業停止や商業施設の休業、隣接する幹線国道9号の通行規制などが発生していた。

このため、当事務所では平成20年度より「下関港海岸 直轄海岸保全施設整備事業」として約12kmの海岸線等を対象に高潮対策のための護岸や胸壁、水門等の整備を進めている。

外浦地区の護岸整備にあたっては、越波・越流に対する防護機能の向上を前提としつつ、海峡の眺望等にも配慮した構造形式として、「二重パラペット式護岸」を採用している。

この構造は、既設護岸を前出しし、押し寄せる波を前面の護岸で小さくし、護岸を越えた海水は石（透水層）

の表面から吸収し、ブロックや石の隙間から排水する仕組みであり、護岸の天端高さを低く抑え、護岸背後に設けた遊歩道からの眺望を確保することが可能となっている。

なお、景観設計は下関港海岸景観検討委員会の指導のもと実施している。

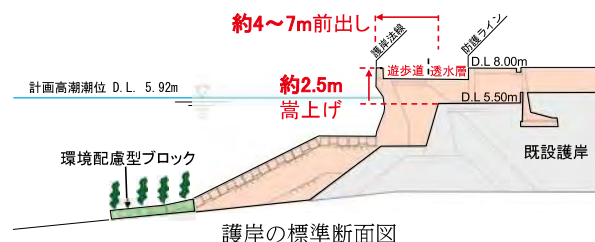
3. 事業の成果

防護：護岸嵩上げにより越波・冠水リスクが低減。

利用：前面護岸背後に遊歩道を設け、車椅子でも利用できるスロープや手すりを設置した。

景観：護岸や遊歩道の色彩を周辺建物と統一することで、空間としての一体感を創出した。

環境・水産協調：護岸前面の海底に設置した被覆ブロックには、海藻や水生生物が息しやすい環境配慮型ブロックを使用した。



護岸の標準断面図



完成護岸

4. おわりに

外浦地区の全護岸完成後、平成30年9月に一般開放を行なった。

医療センターの利用者からは、「安全性が高まったほか、眺めが良く、散策やリハビリに利用し喜ばれている。」など好評を頂いている。

今後も引き続き、地域の安全・安心、更には地域の魅力向上にも寄与する下関港海岸の高潮対策事業を進めたいと考えている。